

## 平成30年度日立市シルバー人材センター事業計画

日本国内の経済状況は、アベノミクスの効果により緩やかな回復基調が続いており、この流れは今後も続くものと見込まれております。しかしながら、地方においては、依然、景気回復の実感が乏しいという声も聞かれています。

日立市においては、復興のシンボルである「池の川さくらアリーナ」の完成や「市役所新庁舎」の供用開始がなされたことで、復興事業が一区切りし、「ひたち創生戦略プラン」の推進など、新たなまちづくりに向けて着実に動き出しております。

こうした中で、シルバー人材センターを取り巻く状況として、国は、少子高齢化が進展する中、人手不足分野や派遣事業の業務拡大に取り組むシルバー人材センターに対し、重点的に補助金を交付するという考え方になっており、様々な形での「高齢者の就業機会の提供」が求められているところです。

このような動きの中で、当センターとしては、基本は高齢者の就労に関わる労働環境の変化や国の考え方に柔軟に対応していくべきものと考えており、派遣事業にも積極的に取り組んでいるところです。

しかしながら、仕事の受注件数は増加しているものの、会員数や契約金額等においては依然伸び悩んでおり、第4次中期計画のスタートの年から設定目標値を達成できないという厳しい現実をつきつけられています。

それでも派遣事業においては、少しずつではありますが、契約高も伸びてきており、また、事業展開の要ともなる事務局の体制も世代交代した若い職員が育ってきており、新たな風が吹きつつあります。

これらのことから、引き続き会員の増強及び就業機会の拡大に努め、地域に根ざした組織団体となるためにも、平成30年度の会員数及び契約金額等の目標値は、平成27年度から掲げてきた数値を再々再度掲げることとし、今年度こそ、その達成を目指し、次のとおり各事業に取り組むことといたします。

### 1 平成30年度達成目標

- |              |                          |
|--------------|--------------------------|
| (1) 会員数（年度末） | 1,150人                   |
| (2) 契約金額     | 480,000千円（一般労働者派遣事業を含む。） |
| (3) 就業率      | 78.0%                    |
| (4) 就業延人員    | 102,000人日                |

### 2 重点実施項目

- (1) シルバー人材センター事業の普及啓発活動の実施
- (2) 派遣事業の積極的推進
- (3) 安全就業の徹底
- (4) 地域に根ざした事業活動の展開
- (5) 「適正就業ガイドライン」の周知徹底

### 3 各項目の事業実施計画

#### (1) 入会促進について

##### ア 入会説明会の実施

入会希望者説明会を毎月第3木曜日に開催します。

##### イ 入会説明会の開催案内

(ア) 日立市報への毎月掲載を行う外、インターネットのホームページでの案内、交流センター等公共施設へのチラシ配置を行います。

(イ) 新入会員を紹介・勧誘してくれた会員に対する特典を検討するなどし、会員の口コミによる新入会員の紹介・勧誘を促進します。

##### ウ 女性の入会増加策の検討

女性を対象とした入会勧誘用チラシ等を作成し、女性が集まる施設・イベント等において配置・配布を行います。また、引き続き女性の入会を促進するPR活動の手法を検討します。

#### (2) 就業開拓提供事業について

##### ア 各事業の実施

##### (ア) 受託事業

① 公共団体、民間事業所からの継続契約については、関係団体、事業所との関係を密にし、受注契約の継続維持を図るとともに、事業所の訪問活動等を行い、新たな仕事の獲得に努めます。

② 植木・除草作業については、植木班や除草班の参加促進を図るため、配分金額等を含む作業体制の見直しなど、作業環境の改善に努めます。特に、除草班については、一般家庭からの需要に応えられるよう作業班体制の見直しを検討します。

##### (イ) 独自事業

刃物研ぎ、給食フキン作成販売、門松作成販売を引き続き実施するとともに、新たな独自事業の開発を目指します。

##### (ウ) 介護保険等事業

① i) 介護保険制度における訪問介護サービス事業、ii) 介護保険制度における市の事業（介護予防・日常生活支援総合事業）である指定基準型訪問介護サービス及び軽費型訪問介護事業、更にはiii) 市の独自事業である軽度生活支援事業を実施します。

② 軽費型訪問介護事業に従事できる会員の養成を図ります。

##### (エ) 産前産後ママサポート事業

平成28年度から行っている日立市からの受託事業で、引き続き実施します。

##### (オ) 指定管理者事業

日立市から平成30年度から33年度までの指定管理者の指定を受けた、常陸多賀駅前自転車駐車場、日立駅前自転車駐車場、日立市金沢福祉作業所の3施設について、適正な管理運営を行います。

##### (カ) 一般労働者派遣事業及び有料職業紹介事業

「労働者派遣事業」については、派遣事業を前提にした会員登録や就業開拓を推進す

るなどし、更に力を入れ拡大していきます。

また、有料職業紹介事業についても取り組みます。

(キ) 地域ニーズ対応事業

社会福祉協議会が行う「生活支援サポート連絡会議」など、関係団体との連絡調整を密にし、高齢者世帯での日常生活での困りごとや特別な支援サービスを必要とするものについて、地域ニーズ対応事業として更に拡大実施します。

イ 就業開拓と就業提供について

(ア) 就業開拓

- ① 新たな仕事の開拓のために、就業開拓推進員を配置し、ダイレクトメールの発送や事業所訪問など、組織的かつ計画的な受注営業活動を行います。
- ② 高齢者に係る就業情報を得るため、公共職業安定所や市の雇用センター多賀との連携を深めます。

(イ) 会員への就業情報提供

毎月の就業情報だより、事務局前の掲示板、会員への電話問い合わせにより行います。また、未就業会員の状況把握と毎月（第4火曜日の午前中）の定例就業相談を行い、適正な就業確保に努めます。

(3) 安全就業の推進について

ア 安全意識の徹底

(ア) 「安全だより」を毎月発行するとともに、安全就業の理解を促す資料を必要に応じて配布します。

(イ) 安全就業に関する標語を募集し、入選作品の表彰を行うとともに、年間のスローガンとして採用します。

(ウ) 安全就業のための研修会を行います。

(エ) 安全対策を怠り、事故を発生させた会員へのペナルティー制度を検討します。

イ 安全就業対策委員会による安全対策活動

(ア) 安全就業対策委員会を随時開催し、発生事故の原因究明と再発防止策の検討を行います。

(イ) 委員による作業現場の安全指導巡視を行います。

(ウ) 作業機械等取扱講習や交通安全研修を実施します。

(4) 普及啓発活動の推進について

ア シルバー人材センターを紹介するパンフ・チラシ等の外、当センターの会報「生きがい」を交流センター等の公共施設に配置させていただきます。

イ 「日立市空き家等対策の推進に関する協定書」の締結に伴い、空き家管理作業のチラシを作成し、PR活動を行います。

ウ 当センターの事業内容等をより分かりやすく伝えられるように、パンフレットやチラシの内容について、適宜改善に努めます。

エ 当センター関連の記事を日立市報に掲載してもらう外、当センターの行う行事・事業

等

をマスコミを通じてPRしてもらいます。

オ インターネットのホームページを活用して、当センターに関する情報を発信・提供し、PRに努めます。

カ 地域社会の奉仕活動を通して、当センターのPRに努めます。

キ 市が行う介護保険制度説明会の際、当センターのチラシ等を配布してもらいます。

ク 市の雇用センター多賀に「就業情報だより」の情報提供を行います。

ケ 会員一人一人による当センターのPR活動を行ってもらいます。

(5) 訓練研修について

ア 研修及び技能講習会の開催

就業に必要な知識と技能向上、技能職種会員による後継者の育成を図るため、また、人手不足分野といった新たな分野で活躍する人材の育成を図るため、当センター独自の研修や県連合会主催の「高齢者活躍人材育成事業講習会」に積極的に関与し、次の内容について実施を検討します。

(ア) 当センターの独自研修について

植木剪定、刈払機、襖・障子、刃物研ぎ、接遇

(イ) 「高齢者活躍人材育成事業講習会」を活用

送迎バス運転者講習、施設管理スタッフ講習、店舗業務スタッフ講習、介護施設清掃スタッフ講習、介護施設調理補助講習

(6) 組織活動について

ア 役職員間の情報共有とセンター組織の活性化を図るため、三役会議及び理事会の定例開催に努めます。

イ 地域班の活動を支援するとともに、地域班相互の情報交換の場として、正副班長会議等を開催します。

ウ 変化していく事業運営に対応するための情報収集と、組織的対応ができる事務局の体制づくりを進めるとともに、各種研修による事務局職員の資質向上を図ります。

